

松阪市がん検診 Web 予約システム導入業務及びサービス使用 仕様書

対象業務

1.業務名

松阪市がん検診 Web 予約システム導入業務及びサービス使用契約（以下「本業務」という）

1. 1 業務目的及び背景

集団がん検診の予約受付は、健康センターはるる・各地域振興局への電話および窓口、もしくは平成 31 年度より導入したがん検診 Web 予約受付システムにて行っている。電話および窓口での予約は Web 予約へ移行しつつあるが、予約開始時には健康センターはるる・各地域振興局の電話回線が埋まるほどの申し込みが殺到する。予約開始時のがん検診 Web 予約受付システムへのアクセス数は約 3,000 件で、実際の予約数は 1289 件。電話予約の申込件数は 241 件である。

電話で受け付けた予約の管理は市が別で使用契約しているアンケートツールサービスを用いている。がん検診 Web 予約システムおよびアンケートツールサービスは個人情報取り扱いの観点から市の基幹業務システムである健康管理システムとは連携しておらず、受け付けた予約はそれぞれ CSV ファイルを出力し、出力した情報を基に健康管理システムへ入力をしている。

この契約は現行契約のがん検診 Web 予約システムが令和 4 年度をもって契約期間の満了を迎えるため、再度がん検診 Web 予約システムの導入を行うものである。

また、電話予約は Web 予約とは別に定員を設定し、市が別で使用契約しているアンケートツールサービスを用いて予約申し込みの管理をしているが、電話予約についてもがん検診 Web 予約システムで予約申し込みの管理をしたいと考えている。そのためインターネットだけでなく総合行政ネットワーク (LGWAN) から予約機能を行えるシステムを導入し、利便性の向上及び業務改善を図ることを目的とする。

1. 2 業務内容

本業務は以下の業務を行うものとする。

・システムの導入

インターネットから予約受付を行うことができるがん検診 Web 予約受付システムを構築すること。なお、システムは LGWAN-ASP サービスとして提供をすること。

・システムサービス使用

導入完了後、がん検診 Web 予約受付システムを 5 年間使用する。なお、システム利用にあたって正常稼働の監視等の運営支援、システム障害対応や各種問い合わせ対応等の保守をあわせて行うこと。

- ・その他の関連作業

本システムの操作手順の説明会の実施、操作マニュアルの作成、テスト実施支援、予約枠設定に必要な元シート作成等を行うこと。

- ・システム導入実績

LGWAN-ASP サービスとして自治体に使用された実績があること。

2. 契約期間

- ・導入期限：契約締結日から令和 5 年 3 月 31 日まで

- ・サービス使用契約：令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

（システム導入業務に係る費用及びその他関連作業は、すべてサービス使用料に含めるものとする。なお、契約日から上記のサービス使用契約開始日までの間、サービス料金は生じないものとする。）

3. 入札価格と契約額及び費用の支払い

3.1 入札価格と契約額

- ・システム導入業務に係る費用とサービス使用料（60 か月）の合算した額を入札価格とすること。

- ・落札にあたっては、入札書に記載された金額をもって落札金額とし、当該金額の 100 分の 110 に相当する金額を加算した金額（当該金額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって契約額とするので、入札者は、消費税等に係る課税対象業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積った契約希望金額の 110 分の 100 に相当する金額を入札書に記載すること。

3.2 費用の支払い

- ・契約額を 60 か月で分割した額を月額とし、毎月後払いとする。

- ・端数が生じた場合は初回の支払い月額に加算する。

4. スケジュール

導入から本稼働までは、以下のスケジュールを想定している。

- ・令和 4 年 11 月～12 月：業者決定、契約、導入の打ち合わせ

- ・令和5年1～2月：環境構築
- ・令和5年2月：運用テスト、操作説明会
- ・令和5年3月：システム稼働（試行運用）
- ・令和5年4月：システム稼働（本格運用）

5. 発注部署

松阪市役所 健康福祉部 健康づくり課 保健予防係 松阪市健康センターはるる
〒515-0078
三重県松阪市春日町一丁目19番地
TEL：0598-20-8087
FAX：0598-26-0201

6. 業務履行場所

松阪市健康センターはるる（松阪市春日町一丁目19番地）
なお、本サービスはLGWAN-ASPサービスでの提供を求めていることから、受託者が管理・運用するデータセンターも業務履行場所とする。なお、これ以外に作業場所が必要となる場合は、受託者の責任と負担において確保すること。

7. システム環境

7. 1 基本要件

オンラインで集団がん検診の予約の申し込みを行う使用者（以下「予約者」という。）は、年間7,000件程度を見込むものとする。なお、予約者は次の環境から本システムを使用するものとする。

機器（それぞれ最新およびサポート期限内のバージョン）	ブラウザ（それぞれ最新およびサポート期限内のバージョン）
スマートフォン等 ・ Android ・ iOS	・ Safari ・ GoogleChrome
パソコン等 ・ Windows ・ WindowsServer ・ MacOS	・ Microsoft Edge ・ Google Chrome ・ Safari

本市の操業行政ネットワーク使用機器	本市の操業行政ネットワーク使用ブラウザ
パソコン（Microsoft Windows 10、WindowsServer2012）	Microsoft Edge

※利用環境は本市の都合により記載のバージョンよりもアップロードする可能性があるため、記載のバージョンから最新のバージョンまでの動作が行えること。

本市がシステムサーバ等の情報機器資産を持たなくてよい クラウド・ サービス使用型のシステムとすること。サービスは提供基盤としてLGWAN-ASP（アプリケーション及びコンテンツサービス）のASP コードを取得していること。また、証明できること。

システムの基幹部分を為すサーバ等の設置場所は日本国内のデータセンターとし、日本データセンター協会が制定する推奨基準項目をクリアした、“ティア3”のデータセンターに準拠していること。

本市がシステムを使用するネットワークは総合行政ネットワーク（LGWAN）を使用することが可能であること。

本市が総合行政ネットワークに接続する環境及び接続端末、周辺機器（プリンタ、バーコードリーダ）は本市が予め用意する。

特別なソフトウェア等の導入する場合は、無害化システム等備えセキュリティ保護を徹底すること。

- ・通信は、セキュリティに配慮し、予約者が使用する際は SSL などの暗号化通信とすること。
- ・システムの機能検証を行うためのテスト環境をシステム稼働前に準備すること。
- ・具体的な画面デザイン及び画面遷移等の決定は、設計時において受託者と本市の協議により行うこと。
- ・システム内の画面遷移に係るレスポンス時間の目標値は、平常時3秒以内とすること。
- ・管理機能へのアクセスは、本市の庁内ネットワークから LGWAN に接続できる仕組みとすること。管理機能への同時接続数は最大10台程度として、システムが問題なく動作できること。
- ・予約者向けのバナーを作成すること。
 - ・本市の基幹業務システムである住基システムや健康管理システムとの連携は行わないこと。

7. 2 予約機能

- ・予約の際は住所（郵便番号）・受診券番号・氏名（カナ）・生年月日・年齢・性別・電話番号・メールアドレス・予約項目・検診希望時間帯・予約日時・備考の入力ができ、個人情報漏洩しないようにセキュリティ対策と個人情報が管理できること。
- ・予約者から予約の変更、キャンセル等の操作を予約者ができること。パスワードを予約

者が設定する際は確認画面などで事前に確認できるようにすること。

また、予約の変更、キャンセル等は検診日の何日前までしか行えないという制御を職員が管理画面から任意でいつでも行えるようにすること。

- ・希望検診を選択する画面では、予約者が入力した性別・生年月日に応じて受診可能な検診のみ予約できるようにすること。
- ・年間の各検診対象、検診実施回数は、年度により変更できること。
- ・すべての検診予約状況がカレンダー形式で確認できること。また、カレンダーでの表示は検診項目別の定員の残数が表示されること。
- ・予約時の必須項目を CSV ファイルで出力できること。
- ・定員の残数管理がしっかり行えること。

※最大受診項目数は松阪市国民健康保険加入者または生活保護受給者であることに加え、がん検診においては前年度受診履歴のない 41 歳女性であり、特定健康診査・胃がん（バリウム）・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん（マンモグラフィ）・肝炎ウイルス、骨粗しょう症の 7 検診が全会場選択可能である。

予約パターンはさまざまであり、同日で検診を受診されたい方も多くみえるため、同日同時検診、別日の検診であっても予約した項目の残数は必ず 1 ずつ減るようにすること。

- ・予約されたデータの検索を行う際に氏名・生年月日等の必須項目で検索できるようにすること。
- ・登録、キャンセル等のログを、最低 1 年は保存閲覧できること。
- ・予約者が予約完了後、予約の完了通知を自動でメール送信できること。また、予約者に対して検診日の確認通知を自動でメール送信できること。確認通知する日については、検診日などを基準にして健康づくり課が設定を希望した日をシステムエンジニアにて設定すること。
- ・完了通知・確認通知の内容は本市が自由に設定できること。また検診ごとにそれぞれメールの内容を設定できること。
- ・各検診の予約時には、本市からの注意文などのメッセージを表示する機能をもつこと。
- ・予約者が同日かつ同時の検診を予約する場合、一度の入力でそれぞれの予約が可能な仕組みがあること。
- ・電話で予約受付したものをがん検診 Web 予約受付システムへ職員が予約入力を行えるよう総合行政ネットワーク（LGWAN）から予約機能を使用できること。

7. 3 管理機能要件

- ・職員は管理画面から、検診ごとに申し込み開始日及び終了日が設定できること。
 - ・各検診、健康診査の定員が設定でき、定員以上の申し込みは受け付けないこと。
- また、定員は管理画面で修正できること。

- ・管理画面から申し込み状況をリアルタイムで確認できること。
- ・管理用アカウントにはタイムアウトが発生すること。
- ・管理用アカウントのアクセスログを取得できること。

7. 4 システム運用保守要件

- ・運用保守にかかる連絡窓口を明示し、連絡可能な状態で維持すること。
- ・サービスの提供時間は、障害時や機器・設備の点検などを除き、24 時間 365 日とする。
なお、点検などの事前に予見される対応のためにシステムが使用できない時間が見込まれる場合には、その日の 2 週間前までに本市に通知すること。
- ・作業や点検に伴うシステム停止が発生する場合は、作業予定日の 2 週間前までに担当者に連絡し、承認を得たうえで作業を行うこと。
- ・保守対応時などの本市からの連絡対応については、年末年始を除く平日 9 時 00 分から 17 時 00 分までで受付対応すること。なお障害対応としては 24 時間、365 日対応すること。
- ・障害によってシステムが停止した場合、障害が確認できてから 1 時間以内に障害状況の連絡を行うこと。またその際に復旧までの目安をメールならびに電話にて行うこと。
- ・障害によってシステムが停止した場合、12 時間以内に復旧すること。
- ・システムを格納したサーバは耐震または免振機能を有していること。
- ・システムは予約受付開始日などの集中アクセス対策として、リソース監視を行うこと。
- ・ハードディスクなどの障害データ消失などに備えた物理的もしくは論理的対策を行うこと。
- ・毎日夜間に自動的にデータベースのバックアップを取得し、バックアップデータを一定期間保管すること。また、必要に応じて、保管期間中のバックアップデータを任意に取得できること。
- ・システムの死活監視を行い、サービスが使用不可となった際に受託者において検知することができること。またサービス使用不可を検知した際には、その旨を本市に報告のうえ、速やかに対処を行うこと。
- ・サーバ内に保存されるデータ容量が飽和状態とならないように常に監視し、サーバの保存容量を確保しておくこと。
- ・システム使用環境（クラウド上も含む）を変更することになった場合には、受託者の責任において行うこと。

7.5 セキュリティ要件

- ・システムにアクセスする職員が用いるアカウントの管理（登録、更新、停止、削除など）を行うための機能（または保守対応）を有すること。
- ・システムの使用記録、例外事象の発生に関するログを取得すること。また十分なストレ

ージ容量を確保し、取得したログを年度単位で1年間保管すること。

- ・不正プログラムの感染を防止する機能について、システム運用に係る機器全てに導入すること。またゼロディアタックを想定して、常に感染防止機能は論理的に最新の状態を保持すること。

8. 納品物

受託者は構築期間内に以下の物品・資料を納めること。

成果物	内容	納入時期
進捗管理	プロジェクト計画書	本市と受託者が協議の上で決定する。
基本設計	画面レイアウト 画面遷移図	
テスト	テスト仕様書及び結果報告書	
使用規約	システム使用規約	
職員向けマニュアル	システム操作マニュアル (管理機能操作を含む) 操作研修会 (Web 会議可) 諸種体制図 (連絡先を含む)	
使用者マニュアル	システム操作マニュアル (公開可能であるもの)	
資料	会議録、議事録など	

・操作研修会については、1時間30分程度の研修を2回開催すること。コロナ禍である現状を踏まえてWeb会議システムを使用した研修会も可能とする。

9. その他

9.1 検査完了条件

納品物が適正に納入され、本システムの安定稼働確認をもって検査完了条件とする。

9.2 契約不適合責任

検収後1年間において、作業内容及び成果物に対して受託者に契約不適合が判明した場合は受託者の責任及び負担において、本市が相当と認める期日までに補修を完了するものとする。

9.3 秘密保持の義務

受託者（退職者を含む）は、受託期間中ならびに受託期間終了後を問わず、本業務において知りえた情報（周知の情報を除く）を、本業務の目的以外に使用してはならない。

9.4 法令順守

本業務を履行するにあたり、松阪市個人情報保護条例、松阪市契約規則、情報セキュリティポリシー等をはじめとする関係法令、規則等を遵守すること。

9.5 費用負担

本業務の実施にあたって要した費用（人件費、諸手当、消耗品、通信運搬費等）は、すべて受託者の負担とする。

9.6 引継ぎについて

受注者は、本契約の履行期間の満了、全部若しくは一部の解除、またはその他の契約の終了事由の如何を問わず、本契約が終了となる場合には、受注者は本市の指示のもと、本契約終了日までに本市が継続して業務を遂行できるような必要な措置を講じ、他のシステム等に移行する作業の支援を行うこと。また、業務引継ぎに伴いデータ移行等が発生する場合、本システムで扱ううち、移行のために必要となるデータを汎用的なデータ形式（CSV 等）に加工し、無償で提供すること。さらにファイル・データレイアウト等の資料を提供し、業務引継ぎに協力すること。

9.7 その他

- ・仕様書及び賃貸借契約書の条項はシステム使用契約書に優先する。
- ・本仕様書に明示されていない事項であっても、本業務履行上当然必要な事項については、本市と協議のうえ、受託者が責任をもって対応すること。
- ・本仕様書に明示されていない事項で疑義が生じた場合や業務仕様等の変更が必要となった場合は、受託者は本市との協議に応じて真摯に対応すること。
- ・サービス使用開始後において、受託者の契約不適合による障害などが発生した場合には受託者が責任を持って対応すること。
- ・本業務に係る物品、資料などの運搬が必要な場合には、原則として受託者の責を持って対応すること。
- ・本市からのシステム障害等における改善要求に対して、指定した期限までに改善が見られない場合は、本市は契約を解除することができるものとする。
- ・本業務に係る訴訟の提起又は調停の申し立てについては、三重県松阪市を管轄とする裁判所をもって専属的合意管轄裁判所とする。ただし著作権の権利に関する訴えについては、民事訴訟（平成8年法律第109号）第6条に定めるとおりとする。